

Akataka Times

Vol. 4
(通算 第157号)

正月気分というものが年々薄れてきているように思われます。
デパートや商店も元日から営業するようになり、世相も変わって
きたからではないかと思えます。
それでも**初日の出**を拝むと晴れやかな気分になります。
気分一新、今年も頑張らしましょう。



『彼は誰時』

『今月の表紙』



富士山の輪郭に沿って射す朝日。その威容は、日本一の名にふさわしいものです。
「彼は誰時(かはたれどき)」は明け方頃の時間帯を指す言葉で、『あそこの彼が誰なのか、聞かねば見分けがつかない薄暗い時分』の意味ですが、この堂々たる姿は誰も見間違えようがありません。
彼は誰時と同義の言葉に「黎明(れいめい)」があります。
黎明期とは、ある事柄が形になる前の始まりの時期のこと。
今は正に、昨年必死に頑張った成果が形になろうとしている、当社の黎明期と言えるでしょう。
2015年最高のスタートを切り、素晴らしい1年にしていきましょう！

撮影日時: 2014年10月25日 撮影者: 石山さん

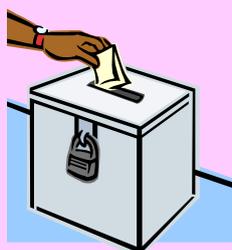


新しい年を迎え、皆さんそれぞれ公私共に期するところがあるかと思ひます。1年という期間は、過去を振り返ると共に希望に満ちた将来への計画を立てるにはちょうどいい区切りかと思ひます。ただ、歳を重ねるごとにこの期間ではチョット短いような気がしないでもありません。その大きな要因として、自身の計画と実績に乖離がありすぎるからだと思ひてもいます。いいかえれば、何となく過ぎた時間が多すぎるとも言えるのではないかと。毎年のことながら猛反省であります。



さて、今年の干支は、未(ひつじ)です。ひつじは群れをなして行動する特徴があるため、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。未年生まれの特徴は、穏やかで温かく、優しい。そして正義感が強く、真面目だといわれています。“羊”がつく漢字も多く、祥、翔、義、美、羨、善などよい意味を持つものに用いられています。また“未”は、果実が熟しきっていない、味が生じ始めた状態ともいわれます。私どもは、この未年に44歳になったといえども、未だ熟し切っていない会社をこれからも全社員が一丸となって苦難を乗り越え、いい味を生じさせていこうではありませんか。

昨年も、様々な場面で多くの新しい方々との出会いがありました。年齢差があつて、男女を問わず、異業種・同業者やお客様などいろいろ方々との出会いは、いつもながら勉強になります。最近では、私より若い方々との接触が多くなってきました。私が45歳ぐらいの頃は、話しかけることも憚れる大先輩が多かったのですが、その方々のお話を聞くのが楽しみであり、教えられることが多かったものです。その大先輩方も段々数が少なくなってさみしい限りです。翻ってみると、私も齢を重ねているということであり、時間は間違いなく過ぎていくのだと実感する時でもあります。今後は、多くのことを学ばせてくれる若い方々との接触の中で、いつまでも若々しい感性を磨き上げていきたいと考えています。また、新しい方々との出会いがあるなかで、旧知の方々と疎遠にならないよう気をつけていきたいと思ひています。ときどき義理を欠いていると思う人がいることに気づきますから。春夏秋冬、四季を問わず音信をお届けしなければならぬと改めて思ひています。



衆議院選挙2014は、下馬評どおり与党が圧倒的な勝利を挙げた結果に終わりました。結果を踏まえて与野党は、党利党略に明け暮れることなく、真に国民のために議員一人ひとりが身を削ってまでも国政に携わってもらいたいと願わずにはいられません。投票が終了したところ女子高校生が、ラジオの取材でこう言っていました。『国が決めた将来で私たちは生きていかなければなりません。是非、真剣に将来のことに取り組んでいただきたい』と。まさにそのとおりであり、国政を預かる方々に捧げたい言葉です。

円安が急速に進み、その功罪が種々論じられています。私どもとしては、お客様であります機械ユーザーが国内回帰に向かい、高付加価値生産・新技術・新産業の創造に向けて国内を活気づけ、世界に冠たる地位を確立していただきたいと希望しています。私ども自身は、粉体ハンドリング技術で少しでも社会貢献できるような顧客創造・商品開発に今後も真摯に取り組んでいかなければと考えています。



今年一年、更に健康に留意し、明るく元気に頑張っていきましょう。

ご安全に！

12月19日(金)に、地震を想定した避難訓練を実施致しました。
16時28分に白鳥部長から緊急地震速報の放送が入り、工場西側に全社員が集合するのに2分54秒と短時間で集まりはしましたが、その中で色々な問題も見えてきました。

まず点呼ですが、各フロアから4階15人、3階6人、1階12人、製造16人と報告を受けましたが、この人数が本当に全員なのか把握できていない状態でした。これでは点呼になりません。
また各フロア共、誰が点呼をとるのかルールが無いような状態でもありました。
これらを踏まえ、人数把握をどうするか、誰が点呼をとるのか、フロア毎で決めておいてください。

次にヘルメットを着用していない人が目立ちました。事務所にいる人は各自の机付近にヘルメットを置いてあるにも関わらず、4階と3階の方は殆ど用意出来ていませんでした。
もう一度各自ヘルメットの確認をして、いつでも着用出来るようにしておいてください。

ここ静岡では、巨大地震がいつ来てもおかしくないと言われています。
このような訓練が何時役立つのかは解りませんが、準備だけは怠りないようにしましょう。



—column—



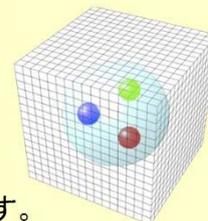
皆さんは、「場の理論」というものをご存知でしょうか？

$$B(\text{行動}) = f(P : \text{性格} * E : \text{環境})$$

場の理論は上記のような関数で表され、行動が性格と環境との関数であり、この3つが相互に作用しあっていることを示したものです。

従って、**どれか1つを変えたいと思ったら、残りの1つまたは2つを変えれば良い**となります。
自分(性格)を変えることは難しくても、環境を変えれば行動を変えることができるという訳です。

またこの理論は、「組織における期待行動を得るためには、個人特性の開発だけでなく、**環境の開発が重要**である」と提唱したものでもあります。
組織における社員と環境の相互作用を解釈するための理論ということですね。



これを5Sに当てはめてみましょう。

ある人が5Sに対し意欲的でなく、しかもその人自身は性格を変えるつもりがないとします。
そのまま何もしなければ、行動、つまり5Sの向上は見込めません。
しかし、その人を取り巻く環境を変えていけば、必然的にその人の5S行動を向上させることができるというわけです。
性格も環境も向上させれば、相乗効果で行動(=結果)は格段に良くなることでしょう。

数年前に社内を徹底的に5Sしましたが、これは場の理論でいうところの「環境」を変えたことになり、その後は自然と5Sを維持しようという雰囲気生まれ「行動」が変わったということになります。

またその中で、皆さんの5Sに対する「性格」も変化していったのではないのでしょうか？

そのような化学反応を起こしてきた結果が現在の5S状況です。
今後より一層の5Sの向上を目指して、**性格と環境を共に改善**し、相乗効果を狙っていきましょう！

2014年 忘年会



長泉山荘にて忘年会



乾杯の挨拶



クイズも盛り上がりました(〇)



社長と手押し相撲!



親子対決!

景品GETしました!

今年もお疲れ様でした~!!

